

## ■三芳野菜のブランド化について

**林** 三芳町は、埼玉県内でも有数の農業振興地域であり、野菜の収穫量ランキングも上位に位置している産物が多いが、埼玉県推進の「埼玉ブランド農産物」の中では正當な評価を得ていない。三芳野菜を更にPRし、ブランド化をはかるべきではないか。

**答** 産業振興課長 川越農林振興センターと相談していきたい。



地元農家の後継者による野菜の即売会(産業祭)

### ◆解説

埼玉県では、平成19年10月、各界の専門家からなる『埼玉農産物ブランド化戦略会議』を設置し、「元氣いっぱい埼玉ブランド農産物」カタログを作成し、40品目を推進品目として選定しました。その中で、唯一かぶの主産地として三芳町の名前が載っているに過ぎません。

三芳町の野菜の収穫量ランキングは、埼玉県市町村順位によると、サツマイモが2位、かぶが5位、ほうれん草、サトイモ、チンゲンサイが6位。お茶が7位、人参、ごぼうが8位。小さな町ではありますが、さいたま市、川越市、所沢市等大きな市に交じって上位に入っています。

埼玉県の三大産物と言われる狭山茶、深谷ネギ、川越いも。残念ながら、川越いもはブランド農産物の中にも入っていません。県では今後、産地の意向や動向などを踏まえ、品目を見直していくと聞いています。三芳野菜をさらにブランド化し、農業振興を図る戦略が求められています。

## ■農業振興地域整備審議会について

**林** 農業振興地域の除外を求め審議会開催にあたり、議事録上では、明確に否決になっている案件が、事務局の主観、恣意的判断によって継続審議になってしまった。会議の中でも申請者に対して事務局の過剰な配慮が感じられた。中立性、公平性に欠けていなかったか。

**答** 町長 ないと思うが、誤解をまねかないように指導していきたい。



2度否決された農業振興地域(三富の自然、文化の中心)

### ◆解説

三芳町農業振興地域整備審議会は、三芳町農業振興地域整備計画の変更、及び整備計画に基づく事業の実施に関する重要事項を調査審議するため設置されています。

8月に審議会が開催され、上富地区に2ヶ所を超える大規模な流通施設等を建設する計画が上がってきました。全員反対で否決されましたが、事務局は、「委員皆さんの気持ちとしては十分に検討がされていなかったのではないかと判断し、再度審議会を開催。しかも、本来は、翌年2月開催予定の審議会が11月に急遽開催されました。繰り上げ開催の理由も理解に苦しむ答弁でした。

議事録上では、明確に否決されています。三芳町会議録作成規程では議事録には会議結果、会議の経過を記録することになっており、これ以外に会議の結果はあり得ません。そうでなければ、会議が終わった後に、事務局の主観でどうにも変えられてしまっています。会議の大原則が崩れてしまっていると感じられました。なお、この案件は再度否決をされました。